

地域連携教育研究

第8号

2023年3月

京都大学

学際融合教育研究推進センター

地域連携教育研究推進ユニット

目次

論文

- スーパーグローバルハイスクール指定校卒業生の興味関心および意識の変容に関する質的研究
服部 憲 児 - 1 -
- 国語科教育と特別支援教育の往還
—真のインクルーシブ教育の実現をめざして—
山下 敦 子 - 15 -
- 市町村における社会教育行政の守備範囲に関する再検討
—社会教育行政が関与しない「連携・協働」事業における「学び」の視点に着目して—
宮 村 裕 子 - 29 -
- 幼児教育における「社会に開かれた」教育課程開発の実態と課題
—学校・地域・家庭・行政の連携に焦点を当てて—
李 震 - 43 -
- 宗教系私立学校における宗教科、特別活動、生徒指導を通じた道徳教育
—学習指導要領の検討と事例研究をもとに—
松 本 圭 将 - 57 -
- 韓国の高等学校教育改革に関する一考察
—「高校学点制」の導入に焦点をあてて—
西 山 喜満主 - 71 -
- 地域探究学習を推進するための高校と地域をつなぐコーディネート機能のあり方
稲 村 健 - 85 -
- 研究ノート
- 新設私立小学校における英語教育改善の取り組み
湯 川 笑 子 - 99 -

パスワード管理方法教育の必要性と具体的な方法について —紙のメモと表計算ソフトを併用した方法の提案とその実用性についての検討—	白井 義比古	- 107 -
リカレント教育における Canvas の活用 —京都大学私学経営アカデミーにおける LMS 講座の実装—	高見 佐知	- 115 -
英語で表現する力の育成を図る指導の工夫 —「イングリッシュ・シャワー」の効果的な活用—	今井 祥詠	- 123 -
アメリカ合衆国におけるインド系移民の文化変容	小島 美月	- 131 -
高校の再編に向けたコンソーシアムの役割 ～白馬高等学校国際観光科を事例として～	井料 央智	- 139 -
彙報		146
投稿規定		149

『地域連携教育研究』第8号投稿規定

2022年07月25日(月)

年報『地域連携教育研究』編集委員会

2023年3月に年報『地域連携教育研究』第8号の発行を予定しています。執筆を希望される方は、別紙『『地域連携教育研究』執筆エントリーシート』にご記入の上、件名「年報執筆希望」として年報編集委員会 (unitnenpo@gmail.com) までメール添付でお送り下さい。

エントリーの締め切りは 2022年9月16日(金) 17時です。

投稿者は、下記の編集規定をご一読の上、投稿規定にしたがって執筆を行ってください。

《編集規定》

1. 本誌は京都大学学際融合教育研究推進センター地域連携教育研究推進ユニットの機関誌として、原則として毎年度発行する。
2. 本誌には、「研究論文」、「研究ノート」のほか、本ユニットの実践活動に関する記事等を編集掲載する。
3. 「研究論文」は、学術論文としての水準を満たすものとする。「研究ノート」は、「研究論文」に馴染まない「実践報告」「文献紹介」「海外の事例紹介」「時事評論」等を内容とする。
4. 本誌の編集のために編集委員会をおく。
5. 本誌に論文等の掲載を希望する者は、所定の論文投稿規定に従い、原稿を編集委員会に送付するものとする。
6. 投稿された論文等の掲載は、レフェリーによる査読を経て編集委員会が決定する。
7. 掲載される論文等について、編集委員会は若干の変更を加えることができる。ただし、内容に関して重要な変更を加える場合は、執筆者との協議を経るものとする。
8. 本誌に掲載された論文等の著作権は本ユニットに帰属するが、執筆者が自己の著作物を利用する場合には、本ユニットの許諾を必要としない。採択された論文等はオンラインで公開される。
9. 論文等の印刷に関して特別の費用を必要とする場合は、執筆者の負担とすることがある。

《投稿規定》

『地域連携教育研究』への投稿者は、次の規定に従う。

1. 投稿者は、(1) 京都大学大学院教育学研究科比較教育政策学講座の構成員(教授、准教授、講師、助教、大学院生および研究生)、(2) 京都大学学際融合教育研究推進センター地域連携教育研究推進ユニットの構成員(教授、准教授、特定教員、特任教員および研究員)、(3) (1) または(2) に該当する者以外で、編集委員会が特に委嘱または承認する者。
2. 「研究論文」は単著論文と共著論文を選択することができる。「研究ノート」は原則上、単著の

- みとする。「研究ノート」の共著を希望する場合は編集委員会までお問い合わせください
3. 第一執筆者としての投稿は、論文、研究ノートそれぞれ1本のみを上限とする。例外として、他の者を第一執筆者とし、第二執筆者以下で執筆する場合は、論文、研究ノートを問わず2本目の参加が認められる。ただし、その場合も2本を超えて執筆することはできない。
 4. 「研究論文」および「研究ノート」は未発表のものに限る。ただし、口頭での発表およびその配布資料については、その限りではない。
 5. 投稿者は、論文原稿の執筆に当たり、次の規定に従う。
 - (1) 論文原稿は横書きとし、ワープロソフト（Wordまたは一太郎）で作成する。
 - (2) 表題、副題、執筆者名、本文、見出し、図、表、注、引用文献を含めて、単著論文の場合は12頁以内、共著論文の場合は24頁以内、研究ノートの場合は6頁以内とする。
 - (3) ページ設定を、余白「上30ミリ、下25ミリ、左25ミリ、右25ミリ」、46字×37行とすること。
 - (4) 表題、副題、氏名に7行をとり、本文は8行目から始める。
 - (5) 表題は中央寄せ、明朝体14ポイント、副題は中央寄せ、明朝体12ポイント、執筆者名は右寄せ、明朝体12ポイント、本文は両端揃え、明朝体（和文）またはCentury（欧文及び算用数字）10.5ポイントとする。見出し、図、表、注、引用文献に関する書式は任意とする。ただし、図及び表は、(3)の余白指定に従うこと。
 6. 投稿者は、論文原稿等の提出にあたり、次の規定に従う。
 - (1) エントリーの締め切りは、2022年9月16日（金）17時とする。共著論文の場合は、第一執筆者が代表してエントリーシートを提出すること。
 - (2) 論文原稿等の提出締め切りは、2022年11月25日（金）17時とする。提出物には以下の4点が含まれる。①論文原稿、②英語による論文題目、執筆者名・所属、③英文要旨（46字×18行）、④英文要旨を日本語に訳したもの。
 - (3) 論文原稿、英文要旨、英文要旨を日本語に訳したものは、執筆者に関する情報の匿名化を行った上で、期日までに、年報編集委員会（unitnenpo@gmail.com）にメール添付のPDF、Word形式で提出する。
 - (4) エントリー以降の題目変更は原則として認めない。題目（英文表記も含む）を変更する場合には、必ず迅速に、編集委員会まで申し出てください。

年報『地域連携教育研究』第8号 編集委員会

編集委員長

高見 茂 (京都大学地域連携教育研究推進ユニット 特任教授)

編集委員

杉本 均 (京都大学大学院教育学研究科 教授)

南部 広孝 (京都大学大学院教育学研究科 教授)

服部 憲児 (京都大学大学院教育学研究科 准教授)

開沼 太郎 (京都大学大学院教育学研究科 准教授)

編集幹事

張 潔麗 (京都大学地域連携教育研究推進ユニット 特任講師)

英文校閲

井上 幸 (通訳・翻訳)

Journal of Education and Research for Regional Alliances

Vol. 8

CONTENTS

Article

- Response of High School Graduates to the Super-Global High School Project and Changes in Interests and Consciousness Kenji HATTORI 1
- Interaction between Japanese Language Education and Special Needs Education Astuko YAMASHITA 15
- A Study on the Scope of Social Education Administration in Municipalities Yuko MIYAMURA 29
- The Realities and Issues of the Development of "Curriculum Open to Society" in Early Childhood Education Xia LI 43
- Moral Education through Religious Studies, Special Activities, and Student Guidance in Private Religious Schools Yoshimasa MATSUMOTO 57
- A Consideration of the High School Education Reform in Korea Kimikazu NISHIYAMA 71
- How to Coordinate High Schools and Communities to Promote Inquiry-Based Learning in Collaboration with Local Communities Takeru INAMURA 85

Notes

- A Case of English Education Reform in a New Private Elementary School Emiko YUKAWA 99
- The Necessity for Password Management Training and Specific Methods of Management Yoshihiko USUI 107
- Utilizing the Canvas Platform in Recurrent Education Sachi TAKAMI 115
- Teaching to Develop the Ability to Express Oneself in English Sachie IMAI 123
- Acculturation of Asian Indian Immigrants in America Mizuki KOJIMA 131
- The Role of Consortiums in High School Reorganization Hirotoishi IRYO 139

Miscellaneous

Center for the Promotion of Interdisciplinary Education and Research
Education and Research Unit for Regional Alliances
Kyoto University
March 2023